



令和4年5月11日

各位

会社名 株式会社アビスト  
 代表者名 代表取締役社長 進 勝博  
 (コード: 6087、東証プライム)  
 問合せ先 経営管理本部 広報部長 大島昂祐  
 (TEL 0422-26-5960)

令和4年9月期第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び  
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

令和3年11月10日に公表いたしました令和4年9月期第2四半期累計期間(令和3年10月1日～令和4年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、令和3年11月10日に公表いたしました令和4年9月期通期(令和3年10月1日～令和4年9月30日)の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 業績予想と実績との差異

(1) 令和4年9月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,670	百万円 250	百万円 280	百万円 160	円 銭 40.20
当期実績(B)	4,671	372	444	160	40.42
増減額(B-A)	1	122	164	0	—
増減率(%)	0.0	49.1	58.7	0.5	—
(ご参考) 前期実績 (令和3年9月期第2四半期)	4,516	302	383	245	61.68

(2) 令和4年9月期第2四半期(累計)個別業績予想と実績との差異

	売上高	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,500	百万円 300	百万円 180	円 銭 45.23
当期実績(B)	4,625	470	294	73.91
増減額(B-A)	125	170	114	—
増減率(%)	2.8	56.7	63.4	—
(ご参考) 前期実績 (令和3年9月期第2四半期)	4,434	383	246	61.96



## 2. 通期業績予想

### (1) 令和4年9月期通期連結業績予想数値の修正（令和3年10月1日～令和4年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,670	百万円 640	百万円 670	百万円 460	円 銭 115.59
今回の修正（B）	9,670	710	800	410	103.02
増減額（B－A）	0	70	130	▲50	－
増減率（％）	0.0	10.9	19.4	▲10.9	－
（ご参考）前期実績 （令和3年9月期通期）	9,021	439	617	669	168.27

### (2) 令和4年9月期通期個別業績予想数値の修正（令和3年10月1日～令和4年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,400	百万円 700	百万円 490	円 銭 123.13
今回修正予想（B）	9,400	870	600	150.8
増減額（B－A）	0	170	110	－
増減率（％）	0	24.3	22.4	－
（ご参考）前期実績 （令和3年9月期通期）	8,860	625	678	170.37

## 3. 第2四半期累計期間業績予想と実績差異の理由

令和3年11月10日の業績予想公表時は、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、上期については受注量不足による若手技術者稼働率の鈍化の影響があるものの、下期以降に徐々に回復していくものと予想しておりました。第2四半期累計期間においては、第16期に新設した技術教育担当による若手技術者の技術力向上に向けた効率的な教育の結果、配属は計画以上に進み、若手技術者を含めた技術者稼働率が向上したことで、設計開発アウトソーシング事業における増収増益に寄与いたしました。また、3Dプリント事業におけるコスト圧縮施策等の結果、連結及び個別業績における営業利益は前回予想を上回りました。さらに「雇用調整助成金の特例措置の延長」により助成金収入が想定を上回ったことで、連結及び個別業績における経常利益並びに個別業績における当期純利益についても前回予想を上回りました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、子会社関連損失(特別損失)の計上により、前回予想と同等の着地となりました。

## 4. 通期業績予想数値の修正の理由

当社グループが主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、半導体等の部品需給の逼迫による生産調整の動きがみられるものの、次世代技術の開発に向けて研究開発の歩みは継続していくものと想定しております。一方で、通期業績予想については、上記の第2四半期累計期間の実績及び、ウクライナ情勢等の地政学的リスク、原材料価格の上昇や金融資本市場の変動等を総合的に勘案し、業績予想の修正をいたします。また、技術教育担当による技術力向上の施策や3Dプリント事業におけるコスト圧縮対策などについては引き続き計画的に実施してまいります。こうした状況を踏まえ、令和4年9月期通期業績(売上高、営業利益、経常利益)については、前回予想を上回ることを見込んでおります。なお、連結業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益については、第2四半期連結累計期間に計上した子会社関連損失(特別損失)を加味した予想数値となっております。



(注)

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 上記業績予想の修正については令和4年9月期のみでの修正であり、令和3年11月10日付「中期経営計画に関するお知らせ」及び令和3年12月17日付「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」にて、公表いたしました、令和5年9月期並びに令和6年9月期の計画数値の変更はございません。
3. 上記業績予想の修正に際して、令和4年9月期における年間配当金予想に変更はございません。

以上